



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 市議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117
Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.hiroei.jp

先鞭(せんべん)を着(つ)ける・我田引水(がでんいんすい)

【先鞭を着ける】◇誰よりも先に物事に着手すること。

・人より先に馬に鞭打って走らせ、さきがけの功を立てる意。

【我田引水】◇自分の都合のよいように物事を運ぶことのとえ。

・周りのことを考えず、自分の田にだけ水を引く意から。

平成26年第1回定例会が3月27日に閉会しました。松戸市長から提案された、一般会計1907億6000万円(+6.5%)と特別会計1305億4600万円(+3.7%)と、企業会計175億3100万円(△4.9%)、合計3388億3700万円(+4.7%)を議会で承認しました。

◎「一般会計」を大きく分けると次のようになります。

◇総務費(9.6%)……自治会関係、出張所、防犯・防災、市庁舎の管理など

◇民生費(42.0%)……福祉、保育・児童育成、生活保護など

◇衛生費(10.4%)……保健所、ワクチン、ごみ・廃棄物、墓地・霊園など

◇労働費(0.1%)……雇用促進、就労支援など

◇農林水産業費(0.3%)……農業、林業、水産業など

◇商工費(2.3%)……商店街、中小企業支援、消費生活、市民まつりなど

◇土木費(11.4%)……道路、河川、公園関係など

◇消防費(3.2%)……消防関係

◇教育費(13.4%)……小・中学校、市立高校、公民館など 一般会計の主なもの

◇議会費(0.5%)……議員報酬、議会事務局など

◇公債費(6.6%)……歳出の財源を得るために借り入れする債務



◎「特別会計」には、

◇国民健康保険事業 ◇下水道事業 ◇小型自動車競走事業(オートレース)

◇船橋駅南口市街地再開発事業 ◇介護保険事業 ◇後期高齢者医療事業

◇母子寡婦福祉資金貸付事業

◎「企業会計」には、

◇地方卸売市場事業 ◇病院事業

があり、千葉県では千葉市の次に大きな予算となっています。私は上記の平成26年度予算を審議する「予算特別委員会」の委員として3日間審議し、4日目の最終日は、提案された全ての予算について、賛成や反対の討論(意見を述べる)をしました。その様子はインターネットで生中継しましたが、録画でもご覧になれますので是非見てください。平成25年度の補正予算も同時に審議しました。

今号は、私の討論の要約を主体に掲載しました。紙面の都合で詳細は書けませんでした。全体が夢のある予算組みとなりました。



「教育費」は、対前年度比で18.4%も増加しました。学校の耐震工事や施設整備費に大幅な予算が投入されました。全小中学校にスクールカウンセラーを配置したり、放課後子供教室を開設します。

「民生費」では、地域包括ケアシステム推進本部を設置します。バス停にベンチや上屋を設置します。念願だった児童相談所の設置の調査検討を実施していきます。



「衛生費」では、65歳以上を対象にした高齢者肺炎球菌ワクチンの接種、乳幼児を対象にした水痘(とう)ワクチンの接種、妊娠を希望する女性とそのパートナーに対して風疹抗体検査の実施、市民が運動習慣を身に付けるための施策など、幅広く市民の健康増進に配慮しています。

「総務費」では、危機管理体制の充実や、町会・自治会がLED防犯灯を設置した場合の補助率や補助上限を引き上げます。

これらのほとんどが、松戸市長が選挙公約に掲げた「子供達のために」「災害に負けないまちづくり」「医療・介護を手厚く」に直結しており、多種多様な市民に対して気配りの効いた予算となっています。

さらに「人が集まる元気なまち」を目指し、春のみならず、秋にも音楽フェスティバルを開催します。8月に、札幌ドームでふなっしー同伴で梨のPR活動をします。また、西浦下水処理場の放流水の落差を利用した小水力発電の実証実験を行い、本市独自の再生エネルギー普及に『先鞭を着け』ます。

しかし、この大変評価できる予算の中で水を差したのが、前号で触れましたが、ある議員が「この業者を使ってくれ」と紹介した話がある関係の2件で、これについては、議会事務局に厳しく質問しました。

(お断りしますが、議会事務局は、議会からの要望に対処しているだけなので、辛い立場を理解した上での質問でした)

1. 市長はじめ議長等6名で交流する「市代表団派遣」の予算が出ているのに、全く別にオランダのオーデンセ市と中国の西安市への「議員団派遣費用」は、全く無駄であると指摘しました。「議長は2回ずつオーデンセ市と西安市行くのか」と聞いたら、議長と副議長が別々に行くので問題ない」との回答には閉口しました。「議員団派遣」は、物見遊山との謗り(そり=糺、けす)を受けることは免れないでしょう。



2. 議長車の運転業務委託も、職員の運転手一人だと過労働だからということですが、4月で苛酷な日程は終わるのです。以前のように一人で十分なのに全く無駄遣いそのものです。

どちらも自分が連れて来た業者を使って貰いたいから予算を提案したものではないか、何か利益誘導でもあるのではないかと、『我田引水』と疑られてもやむを得ません。市民の方々の厳しい声を届けてください。

最終的には、この2件については絶対に予算を執行しないこと、もし執行したら、ある議員が紹介したという業者名と、その議員名を公表することを条件に出して、予算に賛成しました。